

4. 行政コスト計算書

コスト	357億7,333万円	割合	収入	299億5,149万円	割合
人にかかるコスト	6億3,605万円	1.8%	保険料	77億2,273万円	21.5%
業務にかかるコスト	14億988万円	3.9%	国・都支出金	131億9,387万円	36.9%
給付にかかるコスト	337億2,740万円	94.3%	その他収入	90億3,489万円	25.3%
減価償却費			市税等	58億2,184万円	16.3%

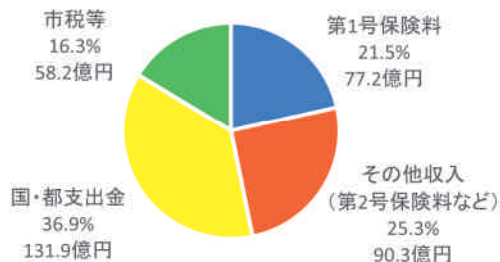
要介護認定者数の増加等により、給付にかかるコストが約11億円増加しました。

5. 貸借対照表

資産	43億1,480万円	割合	負債	3億4,591万円
土地			地方債(市の借金)	
建物			その他の負債	3億4,591万円
その他の資産	43億1,480万円	100.0%	純資産	39億6,889万円

介護保険事業の安定した財政運営のための準備基金積立金が、約1.1億円増加しました。

介護保険事業会計 財源構成



給付にかかるコストは50%を国・都・市の公費で、残りの50%を被保険者の方々の保険料でまかっています。



1. 事業の紹介

健康増進法に基づき、がんの早期発見、早期治療を図ることで、働き盛り世代(主に40歳～60歳代)が健康で暮らせることを目指す事業です。

町田市民の死因第1位である“がん”の予防対策を推進するため、効果的、効率的ながん検診や普及啓発を実施するとともに、町田市医師会と協議を行い、受診しやすい環境づくりを推進します。

2. 事業の成果

成果指標名	2020年度	2021年度	2022年度
子宮頸がん検診受診率	15.7%	17.4%	18.2%

2021年度の受診勧奨結果をもとに、働き盛り世代を中心に個別受診勧奨を行った結果、子宮頸がん検診の受診率が0.8ポイント増加しました。

※20歳以上の女性が町田市の子宮頸がん検診を受診した割合です。勤務先や人間ドックなどで受診した割合は含みません。

3. これからの課題

がんの早期発見、早期治療のため、より多くの市民にがん検診を受けていただく必要があります。受診率向上のために、勧奨方法の検討が求められます。

4. 行政コスト計算書

コスト	2億9,796万円	割合	収入	512万円	割合
人にかかるコスト	2,735万円	9.2%	国・都支出金	434万円	1.4%
業務にかかるコスト	2億7,061万円	90.8%	その他収入	78万円	0.3%
給付にかかるコスト			市税等	2億9,284万円	98.3%
減価償却費					

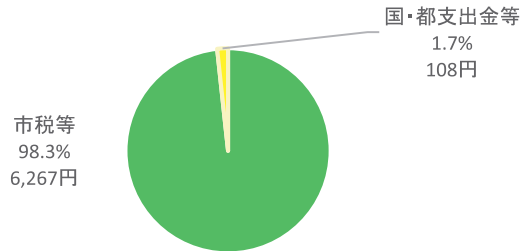
業務にかかる主なものは、大腸がん検診委託料7,852万円、子宮頸がん検診委託料7,446万円です。

5. 貸借対照表

資産	0円	割合	負債	2,025万円
土地			地方債(市の借金)	
建物			その他の負債	2,025万円
その他の資産			純資産	△2,025万円

その他の負債のうち、1,816万円は退職手当引当金です。

受診者1人あたりコスト
にかかる財源構成



がん検診受診者1人あたりコスト
6,375円
受診者総数
46,739人

検診名称	受診者数	自己負担額
胃がんリスク検診	2,890人	800円
大腸がん検診	24,103人	800円(500円※1)
肺がん検診	1,404人	1,500円(2,000円※2)
乳がん検診	7,951人	2,000円
子宮頸がん検診	10,391人	1,000円
合計	46,739人	

受診者には、表のとおり一部自己負担があります。

自己負担額は各医療機関の収入となります。

※1 成人健康診査等と大腸がん検診の問診を同時に受けた場合。

※2 喀痰細胞診を実施した場合。50歳以上かつ喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の方が対象。



1. 事業の紹介

版画作品や美術資料の収集・保管及び展覧会の企画・開催、版画の実技講座の実施及びその他の教育普及と広報宣伝活動、図録やグッズ等の作成と販売、市民展示室やアトリエ等の貸出しなど様々な事業と活動を展開することで市民や来館者が優れた美術作品を鑑賞し、創作し、発表する機会を提供しています。これにより、町田市の文化振興および文化・芸術都市としてのブランドイメージ向上に寄与します。

2. 事業の成果

成果指標名	2020年度	2021年度	2022年度
展覧会観覧者数	7万1,465人	9万3,170人	10万8,844人
観覧料、施設使用料、特別 閲覧手数料収入	1,093万円	2,021万円	2,025万円

2022年度は6件の企画展と5件のミニ企画展(特集展示)を開催しました。開館日数が2021年度よりも多かったことなどにより、年間の展覧会観覧者数は2021年度より15,674人増加し、観覧料や特別閲覧手数料などの収入は4万円増加しました。

3. これからの課題

2021年度よりも来館者数が増加しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準までは回復していません。今まで以上に幅広い層に魅力が伝わる展覧会を開催するほか、オンラインプレスリリースによる広報やSNSの積極的な活用など、様々な手法により国際版画美術館の魅力を情報発信し、来館者の増加につなげる取り組みが必要です。

4. 行政コスト計算書

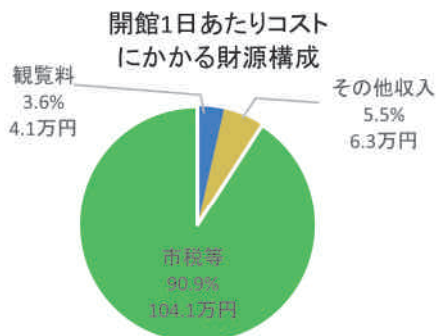
コスト			収入		
コスト	3億5,054万円	割合	収入	3,195万円	割合
人にかかるコスト	1億4,125万円	40.3%	観覧料	1,251万円	3.6%
業務にかかるコスト	1億5,301万円	43.7%	その他収入	1,944万円	5.5%
給付にかかるコスト			市税等	3億1,859万円	90.9%
減価償却費	5,628万円	16.0%			

観覧者数が増加したため、観覧料収入は20万円増加しました。

5. 貸借対照表

資産			負債		
資産	27億3,374万円	割合	負債	2億1,282万円	
土地			地方債(市の借金)	9,927万円	
建物	7億5,327万円	27.6%	その他の負債	1億1,355万円	
その他の資産	19億8,047万円	72.4%	純資産	25億2,092万円	

資産は、美術館の建物7億5,327万円と屋外彫刻、収蔵美術品及び定額運用基金19億8,047万円などです。



開館日数1日あたりコスト
114.5万円
年間開館日数
306



エントランスホール

1. 事業の紹介

町田市立総合体育館の施設と、附属設備の維持管理を適切に行います。
市民が気軽にスポーツに親しめるよう、スポーツをする場・みる場を提供します。

2. 事業の成果

成果指標名	2020年度	2021年度	2022年度
施設利用者数	187,855人	228,822人	305,892人
施設利用率	84%	92%	92%

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、各種大会や興行・イベントを誘致・開催するとともに、教室事業等を拡充した結果、施設利用者数が77,070人(+33%)増加しました。また、施設利用者の利便性が低下することがないよう、設備等を応急修繕し、施設の維持・保全を図りました。

3. これからの課題

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、減少した施設利用者数の回復に向けて、スポーツに親しむ機会を拡充していく必要があります。また、建設から30年以上が経過し、躯体や設備等が老朽化しているため、施設を安全・安心に利用できるように、適宜、修繕等を施し、躯体や諸設備の維持保全に努める必要があります。加えて、継続的にスポーツを「する」場・「みる」場を提供するため、大規模改修等の実現に向けた検討を進めていく必要があります。

4. 行政コスト計算書

コスト	4億4,392万円	割合	収入	0円	割合
人にかかるコスト	514万円	1.1%	国・都支出金 その他収入	4億4,392万円	100.0%
業務にかかるコスト	2億6,978万円	60.8%			
給付にかかるコスト					
減価償却費	1億6,900万円	38.1%	市税等		

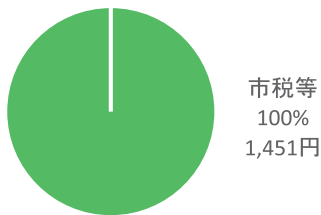
物件費について、指定管理料及び消防法改正に伴う委託料の増加により1,693万円増加しました。

5. 貸借対照表

資産	31億158万円	割合	負債	2,760万円
土地	7億6,450万円	24.7%	地方債(市の借金)	2,317万円
建物	22億4,056万円	72.2%	その他の負債	443万円
その他の資産	9,652万円	3.1%	純資産	30億7,398万円

資産について、総合体育館の建物とその他の資産の減価償却により、1億6,900万円減少しました。

総合体育館利用者1人あたりコスト
にかかる財源構成



総合体育館利用者1人あたりコスト
1,451円
年間利用者数
305,892人



町田市立総合体育館 メインアリーナ

1. 事業の紹介

市民が分別して排出したごみや資源物を収集し、適正に処理または資源化を行う施設等へ運搬します。また、町田市内にある集積所を適切に管理し、市民が分別に取り組みやすい環境を整える役割を担っています。

2. 事業の成果

成果指標名	2020年度	2021年度	2022年度
ごみ及び資源の収集量	91,089トン	88,686トン	86,471トン
市内の集積所数	9,809箇所	9,895箇所	9,973箇所

市内の各家庭から排出されたごみ及び資源86,471トンを収集し、適正に処理または資源化を行う施設等へ運搬しました。

また、利用者数の増加にあわせて集積所を78箇所増やし、市内9,973箇所の集積所を管理しました。

3. これからの課題

市民からは「ごみや資源物が、収集カレンダーに記載された収集日に確実に収集されること」が求められています。排出されたごみや資源物を確実に収集するための体制を維持しつつ、更なる効率的な収集が行えるよう努める必要があります。

4. 行政コスト計算書

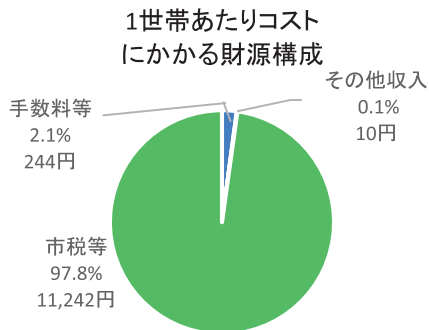
コスト	23億5,939万円	割合	収入	5,212万円	割合
人にかかるコスト	6億2,209万円	26.4%	手数料	4,998万円	2.1%
業務にかかるコスト	17億3,549万円	73.5%	国・都支出金		
給付にかかるコスト			その他収入	214万円	0.1%
減価償却費	181万円	0.1%	市税等	23億727万円	97.8%

労務単価の上昇等により、業務にかかるコストが2021年度に比べて6,581万円増加しました。

5. 貸借対照表

資産	3億5,883万円	割合	負債	5億3,757万円
土地	3億5,644万円	99.3%	その他の負債	5億3,757万円
建物				
その他の資産	239万円	0.7%	純資産	△1億7,874万円

土地は、集積所用地4,933.45㎡、その他の資産はごみ収集等業務用車両32台などです。



1世帯あたりコスト
1.1万円
2022年10月1日時点の世帯数
205,236世帯



1. 事業の紹介

本事業は、町田市バイオエネルギーセンターの運営管理及び場内設備の維持管理を行い、市内から発生するごみを滞りなく適正に処理することを目的としています。

2. 事業の成果

成果指標名	2020年度	2021年度	2022年度
ごみ焼却量	89,510トン	86,377トン	71,765トン
ごみ搬入量	92,043トン	89,866トン	77,813トン

町田市バイオエネルギーセンターでのごみ焼却量は、2021年度比で14,612トン減少しました。なお、同じく市内のごみを処理する多摩清掃工場での焼却量は、処理区域の拡大と資源ごみ処理施設の稼働までのごみ処理支援によって10,511トン増加し、13,495トンとなりました。町田市のごみ焼却量の総量としては85,260トンで、2021年度比で4,101トン減少しました。

3. これからの課題

町田市バイオエネルギーセンターの運營業務委託が開始したため、ごみの処理を滞らせることのないように、モニタリングの実施や他市事例を踏まえた運営管理の方法を検討する必要があります。

4. 行政コスト計算書

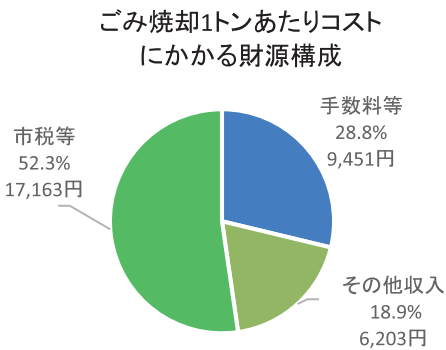
コスト	23億5,512万円	割合	収入	11億2,350万円	割合
人にかかるコスト	7,810万円	3.3%	手数料	6億7,727万円	28.8%
業務にかかるコスト	11億3,362万円	48.1%	国・都支出金		
給付にかかるコスト			その他収入	4億4,623万円	18.9%
減価償却費	11億4,340万円	48.6%	市税等	12億3,162万円	52.3%

町田リサイクル文化センターでの運転業務が委託化されたため、人にかかるコストが1億9,007万円減少しました。

5. 貸借対照表

資産	272億5,672万円	割合	負債	129億6,309万円
土地			地方債(市の借金)	129億125万円
建物	267億5,390万円	98.2%	その他の負債	6,184万円
その他の資産	5億282万円	1.8%	純資産	142億9,363万円

町田市バイオエネルギーセンターの減価償却等のため、建物残高が11億2,160万円減少しました。



ごみ焼却量1トンあたりコスト
32,817円
市民1人あたりのコスト
5,462円



町田市バイオエネルギーセンター

1. 事業の紹介

「町田薬師池公園四季彩の杜」は、東京都の名勝に指定された薬師池を中心に、リス園、ぼたん園、ダリア園などの観光施設や豊かな自然環境が存在するエリアです。2020年4月17日には西園・ウェルカムゲートがオープンし、町田市の観光拠点として魅力を高めています。

さらに魅力を高めるため、『町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画』を着実に進めるとともに、四季折々の花々を育成し、市内外から来園する人々にやすらぎを提供します。

2. 事業の成果

成果指標名	2020年度	2021年度	2022年度
町田薬師池公園四季彩の杜 全体の来園者数	1,149,391人	1,273,187人	1,340,649人

四季彩の杜エリア全体を対象としたイベント及びシャトルバスの運行や、ゴールデンウィーク中に西園にて子どもを対象としたワークショップ「子どもDay's」を実施したことにより、西園・リス園などエリア内施設の来園者数が増加しました。これにより、町田薬師池公園四季彩の杜全体の来園者数は約67,000人増加し、約134万人となりました。

薬師池公園の来園者数は、約43万人と約2万人減少したものの、新型コロナウイルス感染症が拡大する前の2019年度と比較すると約36万人から約7万人増加しており、依然として多くの方にご来園いただいています。

3. これからの課題

さらなる来園者呼び込むため、ソフト事業を継続的に行うとともに、新たなにぎわいの場づくりや施設間の移動をスムーズにする仕組みづくりなどハード面の整備も行う必要があります。

4. 行政コスト計算書

コスト	3億4,493万円	割合	収入	2,467万円	割合
人にかかるコスト	3,928万円	11.4%	使用料等	1,635万円	4.7%
業務にかかるコスト	2億2,627万円	65.6%	国・都支出金	763万円	2.2%
給付にかかるコスト			その他収入	69万円	0.2%
減価償却費	7,938万円	23.0%	市税等	3億2,026万円	92.8%

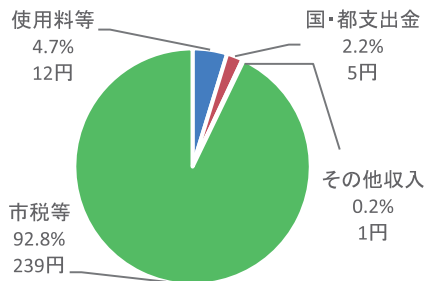
南園測量業務委託を行ったこと等により、業務にかかるコストが2,677万5千円増加しました。

5. 貸借対照表

資産	113億2,628万円	割合	負債	10億2,443万円
土地	96億3,932万円	85.1%	地方債(市の借金)	10億272万円
建物	4億9,099万円	4.3%	その他の負債	2,171万円
その他の資産	11億9,597万円	10.6%	純資産	103億185万円

ウェルカムゲートバスベイ工事が完了し、その他資産(工作物)が2億5,788万円増加しました。

来園者1人あたりコストにかかる財源構成



来園者1人あたりのコスト
257円

※公園緑地課の行政コストのみで算出しています。



町田薬師池公園四季彩の杜 西園(ウェルカムゲート)

1. 事業の紹介

市営住宅を良質で適切に維持管理することで、市民が安心して暮らし続けることができる環境を確保します。

市内に6団地514戸ある市営住宅(借上げ公営住宅を除く)と2団地5戸ある市民住宅(特定公共賃貸住宅)等を管理・運営するための事業です。

2. 事業の成果

成果指標名	2020年度	2021年度	2022年度
市営住宅使用料徴収率 (当該年度分)	98.9%	99.0%	99.0%
長寿命化修繕の実施棟数 (延棟数)	9棟	11棟	12棟

市営住宅使用料の当該年度分徴収率は、引き続き高い徴収率を維持しています。
忠生市営住宅(2号棟)において、外壁改修工事を実施したことにより建物の長寿命化を図りました。

3. これからの課題

市営住宅使用料の未収金については、早期に滞納者と納付折衝を進めていくことが重要です。
市営住宅の長寿命化を図るため、設備更新や維持補修を適切な時期に実施していく必要があります。

4. 行政コスト計算書

コスト	3億8,741万円	割合	収入	1億8,905万円	割合
人にかかるコスト	1,187万円	3.1%	家賃収入	1億6,749万円	43.2%
業務にかかるコスト	2億609万円	53.2%	国・都支出金	2,122万円	5.5%
給付にかかるコスト			その他収入	34万円	0.1%
減価償却費	1億6,945万円	43.7%	市税等	1億9,836万円	51.2%

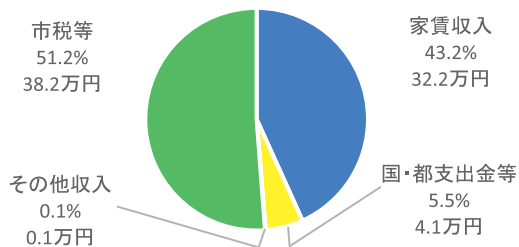
市営住宅の修繕費の増加により、業務にかかるコストのうち維持補修費が4,247万円増加しました。

5. 貸借対照表

資産	81億3,177万円	割合	負債	3億1,680万円
土地	44億3,939万円	54.6%	地方債(市の借金)	3億517万円
建物	36億7,249万円	45.2%	その他の負債	1,163万円
その他の資産	1,989万円	0.2%	純資産	78億1,497万円

市営住宅の建物の減価償却により、建物が1億6,877万円減少しました。

住戸1戸あたりコストにかかる財源構成



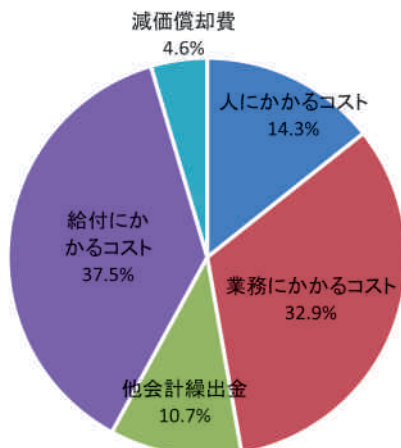
住宅1戸あたりコスト
 年間74.6万円(月間6.2万円)
 市営住宅・市民住宅戸数
 519戸



町田市営住宅(忠生市営住宅)

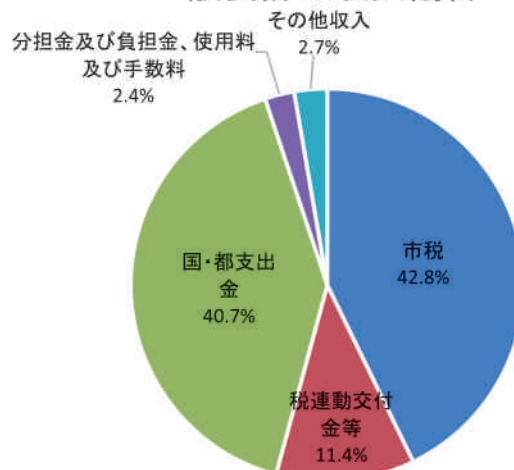
町田市(一般会計)の状況

一般会計のコスト割合



1,585億9,916万円

一般会計の収入割合



1,644億9,745万円

人にかかるコスト…人件費、賞与引当金繰入額、退職手当引当金繰入額

業務にかかるコスト…物件費、維持補修費、補助費等、不納欠損引当金

他会計繰出金…国民健康保険事業会計、下水道事業会計、介護保険事業会計、
後期高齢者医療事業会計への繰出金

給付に係るコスト…扶助費

税連動交付金等…地方交付税、地方消費税交付金、地方譲与税、地方特例交付金等

1. 行政コスト計算書

コスト	1,585億9,916万円	割合	収入	1,644億9,745万円	割合
人にかかるコスト	226億9,994万円	14.3%	市税	703億9,505万円	42.8%
業務にかかるコスト	522億754万円	32.9%	税連動交付金等	187億7,823万円	11.4%
他会計繰出金	169億8,244万円	10.7%	国・都支出金	668億7,357万円	40.7%
給付にかかるコスト	594億5,846万円	37.5%	<small>分担金及び負担金、 使用料及び手数料</small>	39億8,410万円	2.4%
減価償却費	72億5,078万円	4.6%	その他収入	44億6,650万円	2.7%

業務にかかるコストのうち、集団接種会場運営委託関連委託料が13億円、キャッシュレス決済プレミアムポイント事業業務委託料が13億円、学校給食に係る賄材料費が11億円です。

給付にかかるコストのうち、生活保護費が174億円、障害者自立支援給付費等が105億円、幼児教育・保育に係る施設等利用給付費が6億円です。

税連動交付金等のうち、地方交付税が47億円、地方消費税交付金が101億円、地方譲与税が8億円です。

2. 貸借対照表

資産	1兆5,603億6,040万円	割合	負債	1,075億667万円
土地	1兆2,390億9,136万円	79.4%	地方債(市の借金)	906億4,882万円
建物	1,230億1,559万円	7.9%	賞与引当金	15億5,522万円
基金積立金	275億8,149万円	1.8%	退職手当引当金	152億1,397万円
その他の資産	1,706億7,196万円	10.9%	その他負債	8,866万円
			純資産	1兆4,528億5,373万円

土地のうち、道路が9,353億円、公園が1,791億円です。

建物のうち、学校が404億円、公園が92億円です。

基金積立金のうち、財政調整基金残高が106億円、公共施設整備基金残高が84億円です。

町田市では、ふるさと納税をさまざまな事業に活用しています。
皆さまが共感する事業への応援をお願いいたします。



おうちでごはん
子ども食堂を自宅へ！

町田市民病院に
最新の医療機器を！



図書館で英語を
学ぼう

～外国語児童書・絵本の充実～

ふるさと納税の申込み方法

◆インターネットから申込み

ふるさとチョイス・楽天ふるさと納税・東急ふるさとパレットの3サイトから申込みができます。
下の二次元コードを読み取ることで、サイトにアクセスができます。

(ふるさとチョイス)



(楽天ふるさと納税)



(東急ふるさとパレット)



インターネットをご利用にならない方は、町田市財政課までお問合せください。

このパンフレットは、700部印刷し、1部あたりの単価は339円です。(職員人件費を含みます。)

町田市財務部財政課
東京都町田市森野2-2-22
電話 042-724-2149
刊行物番号 23-25